

スタッフが日ごろよくお受けする相談について、まちスポ大津の理事“遠藤さん”がお応えします。みなさんの活動の参考になれば幸いです。



Q 交流会って参加する意味ありますか？

市民活動交流会などへの参加を誘われますが、展示や発表は苦手ですし、知らない人も多いのでいつも出席を悩みます。参加しておくとういうメリットがあるでしょうか？



A 共有し合え、広がるいい機会です。

助成金をもらって、報告会の後に交流会がありますね。参加することで交流が生まれて新たな事業が広がったり、同じ課題があるなど共有できることがあります。「最初は躊躇しましたが、参加したおかげで広がってよかったです」という声をよく聞きます。市民活動は広がって知ってもらうこと、広げることで課題を解決していくことにつながるの、活動しているという共通事項だけでもメリットだと思いますよ。

【遠藤さん】まちスポ大津理事。前職は認定NPO法人まちづくりネット東近江事務局長。県内各地の中間支援活動に関わること20年、“滋賀のNPOのお母さん”とも称されます。

NEW!

Welcome winter

募集しています

2月
スタート

毛糸ポンポンデコレーション2025 ～まちスポ大津のヤーンボミング活動～



ヤーンボミングとは、カラフルな毛糸で編んだモチーフを木に装飾し彩りを添えるアート活動です。葉を落とす木々の彩りとして、2022年2月から毎冬行っています。身近な場所のにぎわいづくりにみなさん参加されませんか？ ポンポンづくりや飾り付け、お子様から大人の方まで参加しやすい方法でぜひ加わってください。プレ装飾は1月7日（火）より開始。エリアを拡大したメイン装飾は2月から始まります。1本の装飾をグループで工夫していただく「オーナーツリー」参加も募集中です。

■参加募集：ポンポンづくり&編み物ワークショップ

2/8（土）
10:00-15:00

- 毛糸ポンポンを作ってランチの木をかざりましょう
- 子ども向け工作WSなど同時開催イベントもあります

2/15
（土）

親子で知ろう!! 「ぼうさいって？」



ランチ大津京防災イベントと連動して、親子で学ぶ防災の企画を行います。防災カルタやクイズで防災について楽しく知り、防災トイレの展示を行います。

まちづくりスポット大津は、2024年10月30日付で「認定NPO法人」としての承認を受けました！

◆ 認定 NPO 法人とは？ ◆

認定 NPO 法人とは、所轄庁が認める NPO 法人のための制度です。公益性の高い事業活動を行っているか、法令等を遵守した適正な組織運営を行い、透明性高い情報開示を行っているかなどを細かな審査を経て承認されます。

認定 NPO 法人になると、その法人へ寄付をした市民や企業等の寄付者が税制上の優遇措置を受けることができます。

活動を寄付・賛助会費で応援してください

まちづくりスポット大津は、みんなが暮らしやすい地域を作る多彩な活動のサポートに取り組んでいます。

事業の多くはみなさまからの寄付により運営しています。賛助会員となって、また寄付で、私たちの活動を応援してください。オンラインでの申請も可能です。

賛助会員参加は
こちらへクレジットカードで
会費支払いできます！

私たち、こんな活動をしています。

- ◎ 活動の育て（講座） ◎ 活動相談
- ◎ 情報収集・発信拠点 ◎ 交流の場づくり
- ◎ 「ハッシュタグ大津京」運営

公式サイト



まちスポ大津は皆様からの寄付で活動を行っています。右 QR コードより賛助会員へのご協力をお願いします。▶▶▶▶※年会費 1 人 3,000 円 / 団体 5,000 円 右 QR コードよりクレジットカード納入可

冬の恒例行事となったヤーンボミング、今年も準備を始めています。これまで複数の方から毛糸の寄付をいただきました。「お店に来て知った」「寄付先がないかネットで調べたら」いろんな方法で活動を知り、届けてくださっています。活用させていただきます。

紙面についてのご感想をお寄せください！



認定 NPO 法人 まちづくりスポット大津

〒520-0021

大津市二本松 1 番 1 号ランチ大津京内



MAIL: info@machispo-otsu.net
https://machispo-otsu.net
TEL : 077-511-9814
FAX : 077-548-6758



発行：認定 NPO 法人まちづくりスポット大津
住所：滋賀県大津市二本松 1 番 1 号ランチ大津京内
https://machispo-otsu.net

contents



まちづくりスポット大津 5 周年 !!

● 交流会を開催しました！

まちづくりスポット大津は 2024 年 11 月 30 日で開館から 5 周年を迎えました。

5 周年の節目となる事業として、それぞれに活動を行っている方たちが出会い、新たな連携が生まれる仕掛けを作りたいと、活動展示・発表とともに交流がができる場として「次へつながる発表交流会～想いをかたちにつぎへ 人へつながる交流会～」を開催しました。

当日は、シェアスペースご利用団体やまちスポ大津の助成金採択団体、フードドライブ配布先団体などに参加いただき、準備いただいた展示パネルを設置。工夫を凝らしてご自身の活動を紹介していただきました。

その後の交流時間では、活動内容や形態は違っても、子育て層の支援や、活動を通して自己肯定感を育みたいなど、目的が共通していたり、まったく他分野であっても連携した取り組みが出来そうな出会いがあったりと、多くの繋がりが生まれた場になりました。

5 周年事業を通してそれぞれの活動への思いを聞く中で、まちスポ大津が接点となり、みなさんの活動がさらに広がって一歩前進できるような場になればと改めて感じました。これからもつながりを生む交流拠点として機能していけるよう取り組んでいきたいと思っています。

● 展示団体の皆様

■フードドライブ協力団体

NPO 法人あめんど
NPO 法人こどもソーシャルワークセンター
NPO 法人 CASN（カズン）
滋賀県母子福祉のぞみ会

■まちスポ大津“彩りはぐくむ”助成金採択団体

ままとものわ / MooA /
湖西ゆびまるこ / 魔法の部屋 /
逢坂クローバー女性の会

■シェアスペース利用団体

言語交流研究所
ヒッポファミリークラブ
ハイブリッド型個別指導塾 BASE
合同会社 INCREW

その他、複数団体から活動紹介をしていただきました。ご協力ありがとうございました。



● 参加者の感想

- ・いつも同じメンバーで交流をしていますが、他分野の人と出会えた貴重な時間になりました。
- ・新しい事業をしようと思い、今回久しぶりにまちスポに足を運びました。ここに来ると色々な情報を聞くことができ、新しいつながりができるのでとても参考になります。
- ・共通のテーマ、課題を感じて活動している人たちが改めてお互いの思いを聞く機会になりました。

【開催概要】

日 時：2024 年 11 月 30 日（土）
13:30 ～ 16:00

会 場：まちづくりスポット大津
参加者：25 名
展 示：12 団体

地域防災～つながるしくみづくり～

毎年11月にブランチ大津京で開催される滋賀学区まちづくり協議会主催の文化祭と同日に、地域向け防災イベントを開催しました。災害支援・防災活動に取り組む団体に展示等で協力を得て、災害に備えるための情報を地域の方たちと共有する機会として実施しました。

【開催概要】

2024年11月4日(月・祝)10:00-15:00
場 所: まちづくりスポット大津
内 容: 防災展示・防災ゲーム体験他
参加者: 148名(参加無料)
後 援: 大津市
協 力: 滋賀学区まちづくり協議会・NPO法人ながらまちづくり協議会・山中比叡平学区まちづくり協議会・立命館大学研究部BKCリサーチオフィス・立命館大学サビスラーニングセンター・IVUSA草津クラブ(全国学生ボランティア団体)・龍谷大学ボランティアNPO活動センター・(社福)大津市社会福祉協議会・南草津マンション防災委員会・Linkしが

● 日頃の備えを考える1日に

気持ちのよい天気となり、地域で防災に取り組む住民や一般の来場者、公園で遊ぶ親子連れなど幅広い年齢層の方が来場され148名の参加がありました。



の体験と展示を見てスタンプを集め、最後に感想メッセージを書くとお菓子がもらえる仕組みとしました。地域防災に携わっている方とお話すると、防災訓練で新たな参加者をどのように増やしていくかが課題となっているとの声をよく聞きますが、この日の参加者は小学生だけの参加や親子連れも多く来られました。令和6年元日に発生した能登

半島地震は新年の震災として印象深く、記憶に残っておられる方も多く、今後の災害への備えをどうするか考え、今回の企画に関心を持たれた方も多いように感じました。

● さまざまな体験・展示

災害で水が止まったら困るのがトイレです。家庭でも準備できる簡易トイレとはどのようなものなのか?大津市危機・防災対策課より現物を持参いただきました。実際に子どもも大人も座ってみると、思ったより頑丈で普段のトイレと変わらないと驚き、簡単に組み立てられコンパクトに収納できることも知り、購入を検討された方もおられました。

災害時の持ち出しグッズ展示では、持ち出し用リュックサックを背負い重さを感じてもらいました。体験者からは、ラ



ンドセルより重すぎる!、こんなにたくさんのものが必要になるのかと認識した、きちんと考えて準備したいと思ったなどの感想が寄せられました。

パネル展示には、能登半島地震ボランティア活動に参加した学生の報告や、マンション住まいのママによる自助コミュニティ「南草津マンション防災委員会」の活動事例紹介、整理収納アドバイザーのボランティア団体「Linkしが」からは、危険を減らすための片付け・整理収納テクニックや減災備蓄の展示など、ヒントが満載の内容となりました。

● 防災ゲームで学ぼう

(社福)大津市社会福祉協議会(以下、大津市社協)の協力で、防災ゲームの体

験を行いました。このゲームは、手札に描かれた特性が違う人が“もしもの時”に必要なものを集めるカードゲームで、所要時間約15分と手軽なものです。大津市社協のスタッフが解説を

● 学生からの発表

能登半島をフィールドに微小地震を研究している立命館大学大学院生 佐々木さんから、研究発表を行ってもらいました。地震についての説明の他、災害時に避難が必要でなくても、家の中で過ごすための備蓄や、災害に遭った時に自分の場所を伝えるための道具としてホイッスルを常に持ち歩くことを勧められていました。また、能登の災害ボランティア活動で初めてボランティア活動に参加した学生からは、自身が制作した動画をもとに、活動に参加するときの注意点や参加しての気づきなどを発表してもらいました。

● 開催のふりかえり

今回は行政を含む6団体14名に協力いただきました。体験や展示をもとに各活動団体と直接コミュニケーションが取れる内容としたことで、参加した子どもたちからは「楽しく勉強することができた」とのメッセージが多く集まりました。出展や発表をした学生らは、地域の方から質問を受ける場面もあり「自分たちの活動を地域の方にアウトプットする機会がなかったので良い経験となりました」とうれしそうな様子でした。

ブランチ大津京内にある近江神宮外苑公園は住民が一時的に身の安全を確保するための一時避難場所です。

いつ!どこで!災害が起こるのか?その時のために活動団体の情報や防災の知識を地域の方へとつなげる活動を続けていきたいと思っています。



KON-KON! おじゃまします

今回は、性教育をテーマに活動されている高野真由さんにお話を伺いました。高野さんとまちスポ大津の出会いには、「2021年度“彩りはぐくむ”まちづくりスポット大津助成金」に応募されたことでした。それから3年経った高野さんの今についてインタビューしました。(以下、敬称略/聞き手:白井)



高野 真由さん
(一社)日本思春期学会性教育認定講師

家庭ではまだまだハードルが高いと思います。何をきっかけに、何をどう話せばいいか、私もそうですが、悩んでいる親は多いと思います。

高野: そうなんです。なので私の教室は、親子で参加できる場にしている、参加した方が「今日話していたあのことで…」という感じで、家庭で話をするきっかけにしてもらえたらと思っています。何も難しいことではなく、触ってほしくない所の伝え方や赤ちゃんはどうやってできるのか、あと例えば学校の性教育ではあまり話題にされない自然妊娠以外の妊娠についてやお産の方法についても話すことがあります。私の話がきっかけで、初めて親が子どもへ不妊

治療を経て産んだことを伝えたという方もおられました。性の話ができれば親子や夫婦で話せる話題はもっと増えると思っています。

● 大切にしていることは?

白井: 現在は“おへその教室”という名前で実施されていますが、名前の由来や込めた思いなどを聞かせてもらえますか?

高野: 2021年に始めたときは“おもいやり性教育”という名前でした。ただ、思いやりという言葉の定義が広く、わかるようでもわかりにくかったので、2022年から“おへその教室”にしました。おへそは命に繋がっていて、お母さんと繋がっている証。子どもも「おへそはどこ?」というときに自分のおへそを触り、自分のルーツを知りたいという思いに寄り添うことができると思いました。包括的性教育という表現をしているのですが、いわゆる性教育ではなく、“おへその教室”では、生きることをまろっと伝えたいと思っています。私が思うのは『性教育=自分を知ること=自分の考えを持つこと』です。知ることによって生きるための選択肢を見つけ、自分で考え選ぶ力をつけてほしいと思っています。

白井: 高野さんのお話を伺っていると、親も子も、性や生きることを自分ごととして捉え、

自分で選択することを大切にされていることが伝わってきます。



おへその教室で使う教材を見せていただいた

● 今後の展開や目標は?

白井: 最近は、幼稚園、小学校、中学校と講師に行かれ、活動の幅はどんどん広がっておられますが、今後の展開や目標としていることなどはありますか?

高野: 2021年の助成金審査会で、「性教育を通して大津の治安を良くしたい。」と言ったことを覚えているのですが、根本は変わっていません。思いは“性教育で世界平和”です。一人ひとりが他者を認め合い、声をあげる人や努力する人を認め合える社会をつくらせていきたいと思っています。

白井: なるほど。それで、包括的性教育なのですね。高野さんのご活動に対する思いが深まる時間になりました。ありがとうございました。

フードドライブを実施しました!



5回目となるフードドライブ活動を11月22日(金)～12月9日(月)に実施し、合計264点の食品や日用品が集まりました。

● 実施概要

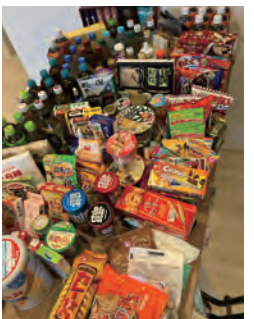
日時: 2024年11月22日(金)～12月9日(月)10時～17時

場所: まちづくりスポット大津

寄付提供者: 30名、品数: 264点

フードドライブ届け先:
(特活) こどもソーシャルワークセンター
(特活) CASN(カズン)
(特活) あめんど
(社福) 滋賀県母子福祉のぞみ会
母子生活支援施設母と子の家しらゆり

Blogでの報告も
ご覧ください▼



おもつや日用品、就学のための学用品などを日常的に必要とされる団体もあります。家庭等で余っているものがありましたら、ぜひまちスポ大津までご連絡ください。